

## 投光器の熱で木製の足場板が焼けた

### 【発生状況】

ガス吸収塔内の点検のため投光器を持って内部へ入り、点検を終えた際に入れ違いで客先が内部確認に来たため、投光器を木製足場板の上に置き外へ出てその場を離れた。

一時間後、ガス吸収塔内から煙が発生していたため内部を確認したところ、投光器を置いていた木製足場板が焼いていた。

【 焼っていた足場板 】



【 置いていた投光器 】



ガード部分に電球が接触している

### 【原因・問題点】

- ①投光器を長時間 木製足場板の上に置いていた。
- ②足場板が投光器の熱で燃えるという認識がなかった。
- ②投光器の電球がガード部分に接触していた。(不適当なサイズの電球を取り付けていた)

### 【対策】

- ①投光器を可燃物の上や近くに置かない。
- ②投光器の熱で可燃物が燃えるという認識を持つ。
- ③適正な電球を取り付ける。(ガード部分に電球が接触しないよう確認する)
- ④発熱しない電球を使用する。